

## 令和 5 年度 県立友部特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 明るく楽しさみなぎる学校</li> <li>◆ 力いっぱい活動できる学校</li> <li>◆ 家庭や地域に開かれた学校</li> </ul>		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>○ ICTの活用もあり、「やってみたい」という気持ちをもって学習に取り組む姿が多く見られた。教職員の自立活動における更なる指導力の向上及び、各部による主体的な取り組みを推進する。</p> <p>○ 生徒の希望や実態に合った進路先の開拓や進路学習を実施した。保護者が卒業後の進路について、早い段階から意識できるような進路支援に努める。</p> <p>○ 各種の緊急時（てんかん発作・食物アレルギー・誤嚥）における訓練を全学年で実施した。児童生徒への保健教育や防災教育を充実し、自分で考え適切に行動できるようにしていく。また、災害時の近隣関係機関との連携強化を図ることで、効果的な防災体制を構築していく。</p> <p>○ 「とんとくマルシェ」の定期開催により、地域の方々の来校も増えてきている。保護者が主体となりPTA事業の計画や運営ができるような体制を検討して実施できるようにする。</p>	<p>1 一人一人が学ぶ楽しさを実感できる授業づくりの推進</p>	<p>① 「できた」「わかった」「もっとやってみたい」と感じる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「めあて」「課題」を適切に設定し、児童生徒自身の「まとめ」や「振り返り」を大切にした実践</li> </ul> <p>② 一人一人の教育的ニーズに応じたICTの効果的な活用と教師間の情報共有、職員研修の実施</p> <p>③ 自立活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家の活用や教科等の学習と関連を明確にした自立活動シートの検討と整理</li> </ul> <p>④ 学校テーマ実現に向けた各部、寄宿舎の主体的な経営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師のアイデアを活かした取り組み</li> </ul>	
	<p>2 一人一人の障害の状態に応じた自立と社会参加を目指す教育の推進と地域に開かれた学校づくり</p>	<p>① 卒業後の視点を踏まえた小学部・中学部・高等部の系統性のあるキャリア教育の推進と地域資源や施設等を活用した職業体験学習、体験的な活動を通しての人や社会とつながる授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティスクール導入準備</li> </ul> <p>② 学校間、学校と地域のつながり、互いの学び合いを大切に交流活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とんとくマルシェの開催</li> </ul> <p>③ 全校あいさつ運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつマイスターの認定</li> </ul> <p>④ 教員の専門性向上に向けた各種研修の実施と専門性を活かしたセンター的機能の充実</p>	
	<p>3 自分の体や健康への関心を高め一人一人の体力の向上と心の育成</p>	<p>① 相手の考えを尊重し、人を思いやることのできる豊かな心の育成</p> <p>② 専門家や保護者と連携した安全・安心な給食と食育、健康教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ からだが喜ぶ給食</li> </ul> <p>③ 児童生徒が主体的に取り組む防災安全教育の計画的な実施</p> <p>④ 感染症等予防対策の徹底と衛生面の意識向上</p>	
	<p>4 安全・安心な教育環境の整備と保護者、地域、関係機関との信頼関係の醸成</p>	<p>① 児童生徒が安心して学習や生活ができる教育環境（施設設備等）の整備</p> <p>② ヒヤリハット事例の蓄積と情報共有、各種マニュアルの見直し・改善による危機管理体制の充実</p> <p>③ 服務規律の確保とコンプライアンス意識の更なる向上を目指したボトムアップ型研修の計画的な実施</p> <p>④ 児童生徒の手本となり、おもてなしの気持ちと明るくきれいな学校を目指す取組（整理・整頓・清潔・清掃）</p>	
	<p>5 働き方改革</p>	<p>① 時間の使い方についての意識改革と勤務時間の適正管理</p> <p>② 業務改善（校務内容、学校行事の見直し、会議の効率化の推進等）</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価		成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	同僚を良く知ること、 相談や助言をしやすい 関係をつくり、不祥事の 起こらない職場環境と なるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員同士と一緒に作業や行事の運営等を行うことを、話をする機会や相手を知るきっかけと意識できるように、職員会議や行事後の振り返り時等において呼びかける。(同僚性を高める)</li> <li>・教員面談時に職場環境等について聴取。</li> </ul>	1—④ 4—③ 5—①			
教職員の 育成及び 指導・監督	専門性のさらなる向上 と人を思いやる豊かな 心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員面談時等に、授業参観の感想を踏まえた指導助言。</li> <li>・教員同士が作業等を通して関わる時間の設定。</li> <li>・日頃から各教員との対話を大切にすることで、指導助言しやすい友好的な関係を構築。</li> </ul>	1—② 2—④ 3—①			
対外活動	地域住民や近隣の関係 機関、施設職員と、防災 活動や生徒の活動も交 えながら交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ともとくマルシェを地域に広く周知しながら定期開催。</li> <li>・関係施設及び鯉淵北防災連絡会等の開催。(年間計3回)</li> <li>・学校間交流、地域交流の実施。</li> </ul>	2—① 2—③ 2—④			

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない